

わたし じんせい なかむら 私の人生 (中村あきら)

URL : <https://youtu.be/ds3aeTWeXDw>

今回は「私の人生 (中村あきら)」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があります。
後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に " ふりがな " はありません。
学習にお役立ててください。

■私のこと

私の名前は中村あきらです。としは36さいです。生まれたところは長野です。
ここには山や川があり、しぜんがたくさんあります。子どものころは、いつも
外であそんでいました。
私は元気な子どもでした。走ることが好きで、よくともだちとかけっこをしま
した。家では本を読むのが好きでした。とくにどうぶつの本をよく読みました。
犬やねこがすきで、いつか大きくなったら犬をかいたいと思っていました。
家族は父、母、姉の四人です。父はやさしくて、おもしろい人です。母は料理
がじょうずで、家のごはんはいつもおいしかったです。姉は3才年上で、いろ
いろなことをおしえてくれました。
子どものころの私は、少しはずかしがりやでした。人前で話すのがにがてで、
大きな声で話すことができませんでした。でも、家族やともだちといるときは、
よくわらっていました。
今の私は、大人になりました。でも、子どものころの気持ちを大切にしていま
す。これからも、いろいろなことを学んでいきたいです。

■子どものころのくらし

私は長野でうまれそだちました。長野は山が多く、夏はすずしく、冬はさむい
です。雪がたくさんふるので、子どものころは外でゆきあそびをしました。ゆ
きだるまを作ったり、そりですべったりしました。とてもたのしかったです。
私の家は小さくてあたたかい家でした。家のまわりにはたんぼや畑がありまし
た。春や夏になると、カエルのこえがたくさん聞こえました。夜になると、ほ
しがきれいに見えました。

まいにち あさ た がっこう い がっこう にじゅうぶん
毎日、朝ごはんを食べたあとに学校へ行きました。学校まではあるいて二十分
ぐらいでした。道のわきには、さくらの木がありました。春になると、ピンク
の花がたくさんさいて、とてもきれいでした。
やすみの日は、家族とすごしました。ときどき、ちち やま い 行きました。山には小
さな川が流れていて、つめたい水がきもちよかったです。母とはいっしょに料
理を作りました。母の作るごはんはおいしくて、私も手伝うのが好きでした。
それから、私の家ではねこをかっていました。名前は「ミケ」でした。ミケは
ちゃいろしろくろのねこで、とてもかわいかったです。学校から帰ると、いつもミ
ケがげんかんでまっています。私が名前をよぶと、ちいさな声で「にゃあ」
となくのが好きでした。
私のこどものころのくらしは、しぜんにかこまれていました。家族やどうぶつ
といっしょにすごす時間は、とてもたのしかったです。

■すきだったこととゆめ

わたし そと す
私は外であそぶことが好きでした。とくにかけっこがすきで、ともだちとかけ
くらべをしました。学校のうちでは、いちばんになりたくて、まいにち
しゅうしました。風の中を走ると、心がすっとしてきもちよかったです。
それから、本を読むこともすきでした。とくにどうぶつの本がすきで、いろい
ろな国のどうぶつのお話をよみました。私はねこをかっていたので、ねこの本を
よむのがとくにたのしかったです。
たべものでは、あまいおかしがすきでした。母が作るクッキーは、とくべつに
おいしかったです。日曜日になると、よく母といっしょにクッキーを作しま
した。小さなまるいクッキーをならべて、オーブンでやくと、へやの中があま
いにおいでいっぱいになりました。
私のこどものころのゆめはどうぶつのお仕事をするのでした。どうぶつがすき
だったので、いぬやねこのせわをする仕事が出来たいと思っていました。でも、
大きくなるにつれて、ちがうことにもきょうみをもちはじめました。
すきなことをする時間は、とてもたのしい時間でした。そのおかげで、いろい
ろなことにちょうせんするのがすきになりました。私は、これからもすきなこ
とをだいじにしたいと思っています。

■ 学校での思い出

私は小学生のころ、学校へいくのがたのしみでした。とくに、ずこうのじかんがすきでした。いろいろなものをつくるのはおもしろかったです。紙や色えんぴつをつかって、花や山のえをかきました。がんばって作ったものを、先生やともだちにほめられると、うれしかったです。

ともだちとあそぶ時間もたのしみでした。ひるやすみになると、みんなで校庭に出て、おにごっこをしました。にげるのがはやいともだちをつかまえるのはむずかしかったです。すごくわくわくしました。

いちばんおぼえていることは、はじめてのはっぴょうです。私は、はじめてのはっぴょうで、すきなどうぶつのはなしをしました。私は人前で話すのがにがてでした。けれど、先生が「おちついて、ゆっくり話せばだいじょうぶ」と言って、がんばることにしました。みんなの前で話したときは、とてもどきどきしました。終わったあと、ともだちが「よかったよ」と言ってくれて、うれしかったです。このけいけんで、自分の気持ちをつたえることは大切だとわかりました。

べんきょうでむずかしかったのはさんすうです。とくに、わりざんをおぼえるのに時間がかかりました。けれど、先生がわかりやすくおしえてくれました。家では、母がいっしょにべんきょうしてくれました。すこしずつわかるようになって、テストでよいてんをとれたときはうれしかったです。

学校は、たのしいこともむずかしいこともありました。その中で、たくさんのかたの事をまなびました。ともだちや先生との出会いは、私にとって大切な思い出です。

■ はじめてのしっぴい

私がしょうがく3ねんせいとき、学校ですきなどうぶつについてはなすきかがありました。私は、自分でかいたかみをもとにしてはなしました。しかし、はなすとき、どきどきして、こえが小さくなりました。みんなはしずかに聞いていました。先生は、あとでもういちどためしてみるように、やさしく言いました。私は、しっぴいのあいだ、心が痛みましたが、先生のやさしいことばに元気をもらいました。

学校がおわったあと、家に帰ると、父と母がえがおで待っていました。父は、私の気持ちをよく聞いてくれました。母は、はなすときにもう一度ためすようにと、あたたかく言いました。かぞくのあたたかいことばに私は安心しました。

その日から私は、かがみの前で、はなすれんしゅうを始めました。ともだちともはなすれんしゅうを重ね、すこしずつこえは大きくなりました。はなすことがたのしくなり、みんなのまえで話すときも、どきどきすることがすくなくなりました。あのしっばいは、私にあきらめない心を教えてくれました。いまでは、人のまえで話すことが楽しみになり、しっばいがよいけいけんとなりました。

■私の仕事といまの私

私は、会社で人と話す仕事をしています。毎日、でんわをうけたり、直接人と話したりします。仕事では、人と話すことが大切です。仕事では、いろいろな人とであい、こころを通わせます。いまの仕事をはじめたきっかけは、小学校でともだちのまえで話したけいけんでした。小学校で、みんなのまえで話したとき、私は話したのしさを知りました。先生のやさしいことばに、元気をもらいました。そのけいけんが、仕事をはじめめるきっかけとなりました。仕事は、あさ早くはじまります。スタッフといっしょに、きょうの計画を話し合います。でんわで、いろいろな人と話します。紙やパソコンにきろくして、みんなで情報を共有します。私は、仕事を通して、正しさとやさしさを学びました。会社の人たちは、いつも力を合わせ、みんなでこんなんを乗り越えます。仕事をする中で、私は毎日新しいことに出会います。仕事での出会いは、私の考えをひろげるきっかけとなりました。いまの私は、仕事で学んだことを大切に、人と話すとき、こころをこめるようになりました。仕事は、私にとってとても大切です。これからも、仕事を通して自分を成長させ、たくさんの人とともに歩んでいきたいです。仕事での経験は、私の毎日をあたたくしました。また、仕事を通して、人の気もちを知ることができました。これからも、仕事であたらしい目標を見つけ、みんなといっしょに前へすすみたいです。

■日本のくらしで大切なこと

日本でのくらしは、毎日あたらしいはっけんがあります。日本では、人のやさしさを大切にしています。まちでは、くるまやでんしゃをつかって、あんしんしてどうします。でんしゃとは、でんきをつかってうごくのりものことです。こうしたのりものは、せいかなじかんにうごき、みんなの毎日のくらしをたすけています。

日本のごはんは、たくさんのやさいがつかわれていて、からだによいです。あさ、ひる、よるのごはんは、かぞくがいっしょにすずす大切なときです。ごはんは、こころをあたため、かぞくのつながりをつよくします。

また、日本のくらしでは、いえやまちがいつもきれいにされています。ごみをぶんべつしてすてるしゅうかんがあります。こうしたしゅうかんは、みんながきれいなまちでくらすためにひつようです。

日本では、仕事やまなびのばで、みんながたすけあいます。人だすけをすることは、こころをつなぐ大切なときとなります。こうしたかかわりは、みんなにあんしんをあたえます。

がいこくからきた人にも、日本のくらしはあたたかいと言われます。日本のぶんかやしゅうかんはしんせつで、わかりやすいです。がいこくの人も、日本のくらしをとおして、やさしさやまごころをかんじるでしょう。

日本のくらしは、毎日出会いとけいけんをもたらし、こころをゆたかにします。これからも、日本のくらしで大切なことをまなび、みんなといっしょにまえへすすんでいきたいとおもっています。

■これからの私

私は、これからもあたらしいことにちょうせんし、いろいろなけいけんをかさねていきたいです。毎日、会社でまなんだことをいかし、人と話すときは、いつもあたたかい心でいるようにしています。

こどものころのゆめは、すこしずつへんかしましたが、そのきもちをわすれずに、いまもあらたなもくひょうをもっています。私は、しっぱいをおそれず、なんどもちょうせんすることが、せいちょうにつながるとおもっています。

これからは、会社での仕事だけでなく、ちいきでのかつどうや、ともだちとのあつまりにもさんかしていきます。そうすることで、みんなと力を合わせ、よい社会をつくることできるとおもっています。一人一人があたたかいことばをかけあうことで、心がそだちます。いま、見ているみなさんにも、いろいろなことにちょうせんする力があるとおもっています。

私は、これからもかぞくやともだちとのじかんを大切に、むずかしいことにもくじけず、一歩ずつ前へすすむようにします。会社でまなんだことや、学校でのけいけんをいかして、人とたすけあい、いっしょにむずかしいことをのりこえます。しっぱいから学んだことは、あたらしいあしたをめざすために大切なことです。みなさんも、あきらめずに、一歩ずつ前へすすみ、あたたかい心でひびをすすんでください。私も、これからの人生を歩みながら、みなさんとともに、あかるい未来をめざしていきます。

「私の人生（中村あきら）」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Easy Japanese-listening-SUSHI